

# RONGO



# RONGO

## Contents

1. 新入生交流会
2. 染谷先生が語る川瀬巴水と文化交流学科の物語
3. キルギス特集&留学生インタビュー
4. 学生インタビュー
5. 実は毎年たべています！～先生たちの秋の味覚～

# 新入生交流会

## 発表×交流！新しいカタチで楽しむ交流会

今年の新入生交流会では、新しい取り組みとして一つのチームが前半と後半にわかれ、ブース運営、他チームのブース見学をそれぞれ行いました。運営する側と交流する側の二つの立場に立てる形式のため、多くの学びがありました。留学生を交えて食べ物や文化、遊びなどを体験することができました。各チーム、他国の文化を学ぶ上でとても興味深い内容を取り上げていて、まさに「楽しみながら学べる」を体現したような有意義な交流会となりました。

### ～当日の様子～（左からイタリア、インドネシア、ウクライナのブース）



【取材班の目線】Gaja Korean（韓国）は、伝統遊びや衣装、観光地に伝統行事、チームドネシア（インドネシア）は遊びや観光、ヴウイヴェー（ベトナム）は食文化や衣装、びっしより月曜日（ウクライナ）は、「ピサンカ（イースターエッグ）」作り、マンマミーア（イタリア）はピザの違いやパスタかるた、草原フロンティア（キルギス）は、暮らしや食事、伝統の遊びに衣装などを紹介していました。どのチームの文化紹介も興味深く、色々な国の文化を学んでいました。また、学生や文化交流学科の先生たちも留学生ととても楽しそうに交流しており、お互いに良い経験ができたように感じました。

### 参加チーム一覧

|                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 紅蓮ベトナム隊（ベトナム）   | チームドネシア（インドネシア） |
| びっしより月曜日（ウクライナ） | 草原フロンティア（キルギス）  |
| マンマミーア（イタリア）    | チームグイ君（ベトナム）    |
| Gaja Korean（韓国） | グウイヴェー（ベトナム）    |

### 日時・場所

5月30日（土）

11号館学生ラウンジ

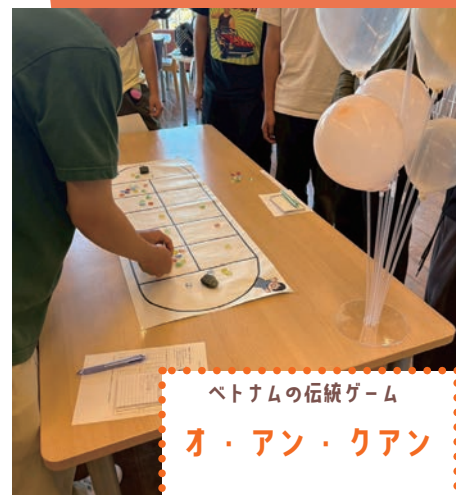
# 各チームの出し物！



韓国の伝統遊び  
**ジェギ**



キルギスの伝統的な保存食  
**クルト**



ベトナムの伝統ゲーム  
**オ・アン・クアン**



各チームでパネルを製作しました！

## ベストプレゼン ランキング

参加者全員が最も良い発表をしたチームに投票し、1位から3位までに賞品が贈られました！入賞した3チームにインタビューしました！

第1位

### Gaja Korean 【韓国】

準備の時間が限られていたことが大変でした。構想が決まるまでは作業を進められず、完成まで忙しかったですが、その分楽しく取り組むことができました。ハプニングもありましたが、チームで協力して乗り越えることができました。準備や発表を通して、チームワークが以前より良くなったと感じています。

第2位

### チームヴィ君【ベトナム】

聞き手にどうすればうまく伝わるかを意識しました。発表を重ねるうちに、以前より緊張せずに話せるようになったと思います。アドリブで発表していた班は、聞きやすくて参考になりました。

第3位

### 草原フロンティア【キルギス】

準備できる時間を合わせて制作していくのは大変でしたが、みんなで協力したからこそ作り上げることができました。新入生交流会を通していろんな国の文化も知れ、有意義な時間を過ごすことができました。

# 染谷先生が語る、 川瀬巴水と 文化交流学科の物語

茨城キリスト教大学と川瀬巴水にどんな関係が？  
なぜ文化交流学科は生まれたのか？  
長年、文化交流学科を支えてこられた染谷先生に、  
その秘密を語っていただきました。



そめや ともゆき  
染谷智幸先生

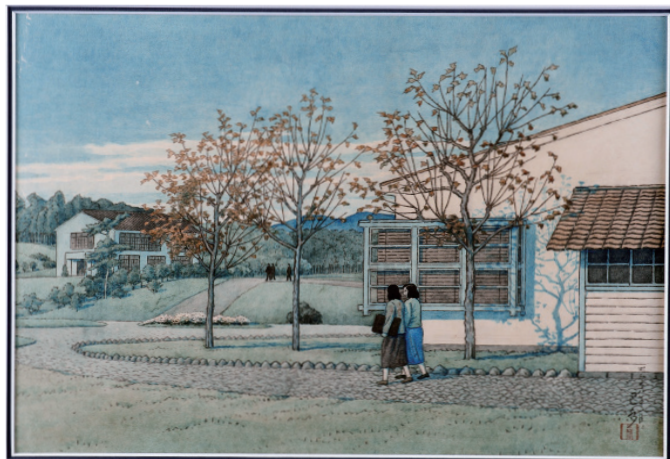
## ① 川瀬巴水と 茨城キリスト教大学との関係

川瀬巴水は日本を代表する木版画家で、大正・昭和の時代に活躍しました。江戸時代の葛飾北斎と歌川広重と並んで、3H (Hokusai, Hiroshige, Hasui) と言われます。最後の浮世絵師とも言われますね。

その巴水は、うちの大学に何度も来ています。巴水の日誌などの資料を見ると「茨城キリスト教学園に行った」という記述がたくさん出てくるんですね。うちの学園草創期の昭和20年代後半、学園と巴水の関係はかなり深いものがあったようです。ところがその後、うちの学園はそのことをずっと忘れてしまっていたのです。2011

年、鈴木昇さんという画商の方が、うちの学園にいらっしゃいました。なぜかという、NHKと協力して巴水の全国展を開催することになったからです。まだ知られていない巴水の作品を探していたところ、巴水の資料に「茨城キリスト」と書いてあるのを見つけ、訪ねていらしたことがわかりました。そしたら川瀬巴水の水彩画が4点出てきたのです。もしその時に鈴木さんが発見してくれなければ、もう捨てられていたかもしれません。

茨城キリスト教大学の校舎を描いた作品がありますが、これらの絵は今でいうとちょうど11号館付近にあたります。みなさんが日々いるところです。

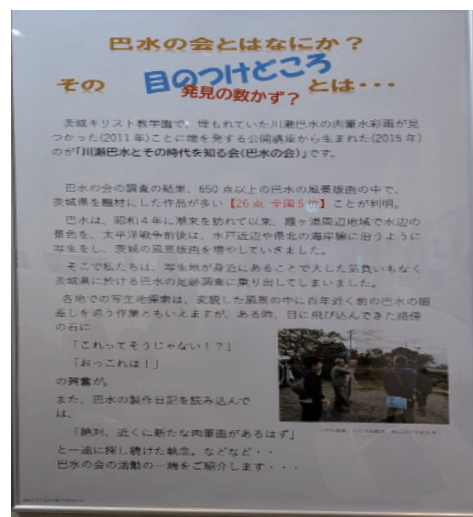


「茨城キリスト教学園の秋」（川瀬巴水作、水彩画）  
制作：1953年 所蔵先：「茨城キリスト教大学図書館」

## ② 川瀬巴水と 染谷先生との関係

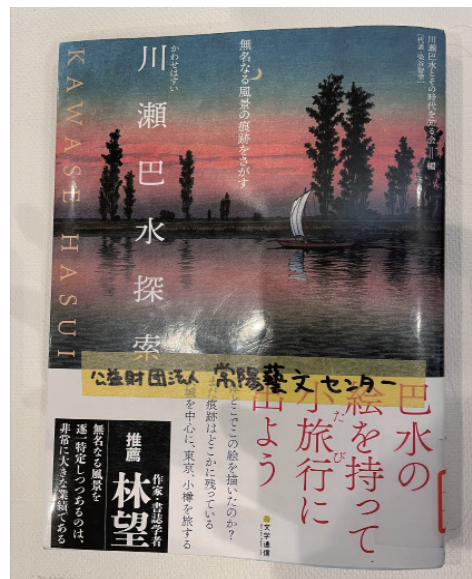
その発見があった時に、僕は図書館長でした。図書館というのは「図」と「書」、つまり本だけでなく、図画や地図なども含むもので、絵を大切にしないといけないと、学生に言っていたのです。それなのに、巴水の作品が4点も自分の大学・学園にあることを全く知らなかったわけで、恥ずかしいというか、僕もショックを受けました。それで、一念発起して、川瀬巴水について勉強し始めたら、これがもうハマってしまったのです。

その後、うちの大学でも巴水に関する関心が高まって、巴水に詳しい方をお呼びして講演会を開いたり、展示会をしたりして、ムードが盛り上がると、地域で興味を持った方々が学園に集まって『巴水の会』ができました。



### 3 川瀬巴水の絵の秘密

巴水を調べ始めたら面白いことがたくさん分かってきました。まず、巴水の茨城作品というのは26点あるのですが、これが「どこを描いているのか」がよく分からないのです。巴水はいわゆる名所旧跡を描かないんですね。どこにでもあるフツウの場所が絵になる。例えば、学園から近いところに水木と河原子の海岸がありますね。巴水はその景色を「水木の曇り日」「河原子の夜雨」という作品にしました。ところが、これがどこだか分からない。それで、いろいろ聞き回って探したところ、場所が分かったのです。場所が分かると、巴水が描いた石橋や石組がまだ残っていることが分かりました。そういう風に探索を積み重ねていったところ、本当にたくさんの発見がありました。それで、資料も溜まってきた頃、東京の出版社にお話をしたところ「これは面白い」と言われて、本として出版もしました。



### 4 川瀬巴水と スティーブ・ジョブズの 意外な関係

元々、川瀬巴水は日本よりも海外で有名で、海外で売れることも目指していました。最近で言うと、iPhoneを作ったスティーブ・ジョブズが川瀬巴水の大ファンだそうです。

スティーブ・ジョブズはAppleを立ち上げた後、自分が創業者であるにもかかわらず会社を去ることになったのですが、その失意の期間に日本へ来ることがあり、その時に巴水の絵を求めたのです。画廊に行っ



### 5 染谷先生と文化交流学科

昔は短大と大学がありました。大学の方は学科が2つしかなく、文学部の英語英米文学科とキリスト教学科だけだったのです。一方、短大には4学科があり、規模としては短大の方が大きかったのです。しかし、時代の流れというのかな、受験生の動向も「短大より大学へ行きたい」となってきたので、そこから、短大を大学化すべきだという話になりましたね。当時、僕は短大の日本文学科に所属していて、そこと大学のキリスト教学科とが脱皮して、一つの学科になろうという動きが生まれてきました。

でも、この二つが上手く合体できるとは思いませんよね。最初はあきらめることもあったのですが、「どんな学科を目指すのか」をお互いに考えていく中で、共通する方向性が見えてきました。日本文学は“日本の中の日本”ではなく“世界の中の日本”を考える。キリスト教学科も、キリスト教だけでなく多様な文化を取り入れていく。そうした考えが重なって生まれたのが、“交流”という視点でした。単なる「文化」や「教養」のための学科ではなく、世界のさまざまな地域と交流していくことを大事にしようということで立ち上げたのが、この文化交流学科なのです。

### 6 多文化協働演習の展示

学生たちはとても楽しそうに取り組んでいました。今回、多文化協働演習の展示をやってみて感じたのは、文化交流学科というのは世界との交流はもちろんですが、地元との交流也非常に大事だということです。そこに力を入れたいし、実際に取り組んでいます。

だから、文化交流学科として美術展や物産展のようなものを、学校の中だけで行うのではなく、もっと地元に出て行って開催してほしいと思っています。日立や大甕、水戸など、外に出ていくことが大切なんです。茨城は今、人口がどんどん減っていて、日立も同じ状況ですよ。そういう地域を、ぜひ盛り上げてほしいと思っています。



## キルギス特集&

# 留学生 インタビュー

- ①何がきっかけで日本に留学しましたか？
- ②なぜ茨城キリスト教大学を留学先を選びましたか？
- ③キルギスのおすすめスポットとおすすめフード
- ④キルギスと日本の違うところはありますか？
- ⑤読者へ一言

## <キルギス基本情報>



キルギス共和国  
Кыргыз Республикасы (Kyrgyz Republic)

【面積】198,500 km<sup>2</sup> ※日本の約半分

【人口】約7,300,000人 ※2025年現在

【首都】ビシュケク (Бишкек / Bishkek)

【言語】国語：キルギス語

公用語：ロシア語

【宗教】主としてイスラム教スンニ派

### ヨライータさん



- ①日本の文化と言語に興味を持ったからです。
- ②静かで海が近いのでここを選びました。あとは、母校の先生から、茨城キリスト教大学は日本人学生と授業を受ける機会があって、日本語を教えてもらえる良い環境だと言われたからです。
- ③一番伝統的な食べ物は、「ベシュバルマック」です。ベシュというのは数字の5。バルマックというのは、指という意味で、昔は手で食べていたからそういう意味になっています。中には、茹でた馬肉と麺が入っています。
- ④日本人は物事をはっきり言わないところがキルギス人と違うと思います。友達から誘われた時、予定があったら日本人は「今日はちょっと…」って。キルギスだったら、「今日はダメ！」とはっきり「行かない」と言いますね。
- ⑤チャンスがあれば、ぜひキルギスに来てください！

- ①日本語力UPのためです。
- ②先輩が過去にここで留学していた時、日本人学生と一緒に受けられる授業があると教えてくれたからです。
- ③遊牧生活を体験したいなら「ソンクル湖」がおすすめです。電波や電気がないので、近代の生活から離れて昔の生活を体験できリラックスして過ごせます。夜になると、星空がとても綺麗に見える場所です。もうひとつは「ケリス湖」という、キルギスと中国の国境に近い湖をおすすめします。どちらも標高が3000mを超える高い場所です。
- ④マナーや礼儀作法に違いがあると感じました。例えば、家でお茶を出す時に日本人は横に置きますが、キルギス人は必ず手でお客さんに直接渡さないと失礼になります。
- ⑤留学生に声をかけてくれたら嬉しいです！ぜひキルギスに来てください！

### エカゲーリヤさん



7月9日キアラ館にて、東京音楽大学大学院 講師ウメトバエワ・カリマンさんによる

## 2026年文化交流学科前期講演会が開催されました！



キルギスについての講演



口に当てて弦を弾き、  
口の形を変えて演奏する  
木製口琴 ジガチ・オース・コムス



あんずの木をくり抜いて作る  
キルギスの伝統楽器 コムス



カリマンさんによる  
コムスを使った演奏

# 学生インタビュー

明秀学園日立高等学校出身

かつやま さほ

2年 勝山 紗帆さん

## ○なぜ文化交流学科に？

文化交流学科を選んだ理由は、幅広い科目を学べる点に魅力を感じたからです。また、オープンキャンパスに2回参加したことも決め手になりました。先生と話せるコーナーで、染谷先生・鄭先生・藤野先生の3人とお会いし、最初は緊張しましたが、とても親身に話を聞いてくださいました。自分が何を深めたいのかまだ明確でないという不安もありましたが、話しやすい雰囲気ので安心できました。その後、染谷先生に「研究室においでよ」と声をかけていただき、入学前の3月に研究室を訪ねました。そこでもたくさんの先生方とお話ができて、学生との距離の近さを強く感じました。こうした先生方との出会いが、文化交流学科を選ぶ大きなきっかけとなりました。

## ○高校時代に力を入れていた活動

中学卒業後は通信制の明秀学園日立高等学校に通い、勉強以外では主に3つの活動に力を入れていました。

1つ目はアルバイトができる環境だったため積極的に働いていました。

2つ目はダンス部で、以前から興味のあったK-POPのカバーに挑戦しました。先輩たちがいなかったの自然とリーダーのような立場になり、同級生と後輩と協力しながら活動を続けました。

3つ目「スマサポ（スマイルサポーター）」という生徒会のような組織で、学校のオープンキャンパスの設営や当日の発表、文化祭の企画などを担当しました。

## ○今後取り組みたいこと

日本語教員を目指す科目も履修しており、日本語の歴史や音声など特に言語学的内容に興味を持っています。知的好奇心と課題との両立が難しいと感じることもありますが、しっかり理解したいと思っています。

## ○好きな授業は何ですか？

好きな授業は、中山先生の「日本語の歴史」です。新書を読みながら、先生が内容について関連する話をしてくださり、とても面白いと感じています。日本語がさまざまな文化の影響を受けて形成されてきたことを学べる点が新鮮で興味深いです。

## ○出身校の後輩へ伝えたいこと

「可能性は無限にある」と伝えたいです。

さまざまな理由で全日制以外の学校に来る人がいますが、大学の楽しさをぜひ味わってほしいです。勉強も大事ですが、その中でも楽しいことはたくさんあります。高校で想像していた大学像と大きなギャップは感じなくても、新しい発見があったり、自分で行動できるようになったり、人脈が広がったりと、得られるものは多いです。思い立ったら挑戦してみることが大切だと思います。



水戸第三高等学校出身

もり みさき

2年 森 美咲さん

## ○なぜ文化交流学科に？

高校時代に世界史を学ぶ中で、さまざまな国の歴史に触れたことがきっかけで海外への興味が強くなりました。また、文化交流体験という授業を通して実際に海外へ行ける機会があることも魅力を感じ、文化交流学科を選びました。

## ○高校時代に力を入れていた活動

高校生の時は写真部に所属しており、「写真部フォトセミナー」に積極的に参加していました。フォトセミナーは、県内の写真部がある学校の生徒が集まり、みんなで撮影を行います。ひたち海浜公園での撮影会があり、プロの写真家の方からカメラの使い方や構図について直接学べる貴重な機会でもありました。

## ○大学生活で楽しいこと

大学での学びは、高校までの授業とは違い、実生活に結びつく内容や体験的な学びが多く、学べば学ぶほど面白さを感じています。

## ○先生方の印象は？

文化交流学科の先生方は、学生にとっても親しみやすく、話しかけやすい雰囲気の方が多く感じています。

## ○所属しているサークル

私が参加しているサークルはICメディア編集部です。『マイ・トピック』や『choice』といったフリーペーパーの制作を担当しています。また、写真部にも所属しています。最近では、校内のアンネのバラの撮影依頼がありました。ほかにも外部の方から依頼をいただくことがあり、InstagramのDMに届いた依頼を写真部内で共有し、担当者が撮影に出向いて納品するという流れで活動しています。

## ○出身校の後輩へ伝えたいこと

「文化交流学科めっちゃいいよ！」と伝えたいです。

自分の好きな授業をたくさん選べるところが、文化交流学科の大きな魅力だと感じています。さらに、サークル活動を思いきり楽しむこともできて、選択肢がとても豊富なんです。こうした自由度の高さがこの学科の良いところだと私は思います。

実は毎年たべています！

# 先生たちの秋の味覚



「すなば珈琲」の特製弁当



笠間の「モンブラン」



サザコーヒーの  
奥久慈リンゴタルト



イタリアン・ガレージの  
モンテピアンコ



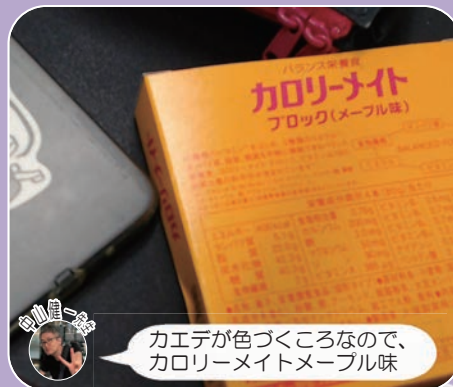
萩谷ぶどう園のぶどう



栗ご飯、専用のハサミも持ってます



香港行ったらやっぱりコレ！  
飲茶（やむちゃ）



カエデが色づくころなので、  
カロリーメイトメープル味



ぶどう 母・知子が描いた絵です。



霧田気重視、ビールとともに。



そば処市川の市川御膳



はちみつ

## ロンゴロンゴ編集部は新入部員募集中！

デザインや雑誌編集、取材活動に興味のある方、もちろん初心者の方も大歓迎です！

私たちと一緒に心に残る記事をつくってみませんか？

＜ロンゴロンゴ10月号に関わった部員＞佐藤真 井坂萌々寧 野原ゆず 早坂優羽 飯村遼太郎 岩田和樹 佐藤沙弥佳 関根生羽 立石琉夏 吉成まなみ 鄭敬珍（顧問） 藤野真華（顧問）